

“ひとりごと” 今月は院長 杉岡真一 です



杉岡歯科医院は今年で11年目を迎えます。今年が一番大きな出来事は、「医療法人」になったことです。医療法人になることで、法人（医院）と個人を分ける事ができ、設備投資が可能な資金がいくらあるかわかりやすくなりました。又、私もスタッフと同様、給料をもらうようになったので、今まで以上に、スタッフと同じ目線で医院を見れるようになりました。ここまで医院を大きくしてくれた、歴代全てのスタッフ及び患者様に、感謝!!です。

さて、先月、校医をしている遷喬小学校で、「噛む事の大切さ」の授業をしてきました。学校歯科健診でも、「歯並び・かみ合わせ」に異常の見られる子供が近年増加しています。しっかりかまなくなっただのが原因です。



最近、子どもの食べる様子がおかしい、という話を聞きます。「いつまでも口の中でクチャクチャやっている」「噛まないで丸のみする」「硬いものを食べようとしない」…。"食べる意欲"の無い子どもが増えています。

最近の調査で、「食べる意欲のある子ども」は、学校生活でも積極性が見られますが、「食べる意欲の無い子ども」は、多くの問題が見られました。つまり、

「食べる意欲」は、「生きる意欲」とも言えるのです。

噛まなくなった事は、顔にも影響しています。昔に比べ、顎の細い子どもが増えています。このままいくと、未来人は宇宙人のような顔になってしまうかもしれませんね!



子どもは大人の小型版ではありません。子ども達は発達途上にあります。環境の変化は子ども達に、大きな影響を与えます。毎日の食事の環境を整えることで、子ども達に心身両面で良い影響を与えましょう。

カムカムタイム In 遷喬小学校

6月15日（水）遷喬小学校で食育の授業をしてきました。保幼小連携授業の一環として、遷喬小学校1・2年生、遷喬幼稚園、わかば保育園の園児・児童・保護者を対象に、2・3時間目を使って、私院長が授業をしてきました。

最初に私が、噛む事の重要性と、よく噛むためにはどうしたらいいかを、写真やイラストを使って説明しました。その後は体験コーナーです。ゼリー・せんべい・するめを使って、実際に噛んでもらい、何回で飲み込めるかの体験です。「おやつが食べれる!」とみんなテンションが上がっていましたが、「ゼリーは噛まないで飲み込めた。」などしっかりと感想を言ってくれました。

しっかりかむ事は、歯並びの改善や、虫歯予防だけでなく、頭がよくなる・肥満の予防、さらに、生きる意欲につながってきます。毎年このような機会を持てればと思います。企画・立案を始め様々な面でサポートして頂いた、養護教諭の福田先生、有難うございました（杉岡）



床矯正アドバンスセミナー

6月19日、歯科衛生士の川畑さんと、私院長で、＜床矯正アドバンスセミナー＞に参加するため、東京に行って来ました。先輩衛生士3人は、2年前に受講したセミナーです。このセミナーは、歯科衛生士の、床矯正治療に対するレベルアップを目指したものです。

午前は、床矯正研究会主幹の鈴木設矢先生の講義です。鈴木先生は休憩も取らずにしゃべりっぱなしで、講義の途中でお弁当が配られ、私達はお弁当を食べながら聞いていました。

講義が終わるといよいよ実習です。模型にブラケットとワイヤーをつける実習です。川畑さん、初めてながら、なかなか慣れた手つきで、実習してましたよ！（杉岡）



以下、川畑さんの感想です。

6月19日（日）床矯正アドバンスセミナーに東京まで行かせて頂きました。このセミナーで、患者様が何を求めているのか、不満・不安の解消がとても大切だと再認識しました。

私は、今まで、歯並びを治してほしい、と来られる患者様に、装置の説明をし、歯並びが治っているのを説明してはいたのですが、なぜ歯並びが悪くなったのか、何か原因が無かったかを知り、その原因を一緒に直していくのがとても大切で、一番最初にしなければいけない説明だと思いました。

教えてもらった事だけを説明するのではなく、患者様一人一人にあった分かりやすい説明ができるようになりたいです。

又、床矯正の実習練習までして頂き、今まで出来なかった事を出来るようになりました。

まだまだ未熟者ですが、一人一人の悩みを解消できるように頑張ります（川畑）。

お母さんの疑問に答えて

Q: 頬杖をすると顔がいがむと聞きましたが本当でしょうか？

A: 頬杖は、顔が変形したり、噛み合わせがずれたりする原因になります。そのまま放置しておくと、顎関節症の原因にもなります。頭の重さは3キログラムあります。頬杖などの悪習癖で、顎に3キロの力が加われば、顎が変形するのは当然です。子どもの将来の為にも、頬杖などの悪習癖は止めさせましょう。

